

小樽・後志におけるヒューマンストーリーの発掘と地域資源化 プロジェクト代表者：小山田 健（プロジェクトリーダー：高野 宏康）

1. プロジェクトの目的・概要

●プロジェクトの目的

小樽・後志地域では、多様で奥深い歴史文化が展開していますが、担い手たちは高齢化などにより年々減少し、記憶の風化が進んでいます。本プロジェクトの目的は、小樽・後志地域の人たちのヒューマンストーリーを調査・記録し、地域資源および地域志向型授業での教育に活用することです。

●具体的な事業

学生が小樽・後志の地域の特徴、取材方法、記事のまとめ方を学んだ上で、同地域の昭和30～40年代の歴史・社会・風俗・文化などに詳しい方にインタビューして、記事にまとめます。その成果にもとづき、インタビュー集の発行、座談会の開催、Webサイト等による情報発信を実施し、着地型・交流型観光コンテンツ等の地域資源としての活用をめざします。本年度は、①記事のクオリティ向上のため、取材方法、記事のまとめ方等の指導を改善しました。また、②公開座談会では手宮地区を対象とし、町会・商店街等にご協力をいただき、より地域に密着したイベントになるように工夫しました。

2. プロジェクトの進捗状況について（～H29.11）

①地域情報の学習および取材方法・記事のまとめ方の修得（採択後～平成29年7月）

授業（総合科目「グローバルズムと地域経済」）内で、小樽・後志地域の歴史文化および社会経済の特徴、取材方法、記事のまとめ方についての講義および、小樽市内バスツアーによるフィールドワークにより、地域社会に対する理解を深め、取材と記事作成方法を習得しました。

②インタビュー実施と記事作成（平成29年6月～7月）

歴史文化やまちづくりに詳しい方（23人）に、学生が各3～4名のチームでインタビューを実施。1500字程度の記事を作成しました。インタビュー先と綿密にやり取りを行う等、記事クオリティ向上を図りました。



取材の様子（樽石にて）

③ゲスト講師の講演会&ディスカッション

ゲスト講師（渡邊英彦氏・富士宮焼きそば学会会長）を招聘、食を通じた地域活性化についての講演および学生との質疑応答を実施しました（5/31）。



手宮での公開座談会（11/14） ゲスト講師の講演（渡邊英彦氏、5/31）



④インタビュー先と学生の公開座談会（平成29年11月14日、会場：おたる千成）

手宮地区のインタビュー先4名、同地区の住民1名と、手宮でインタビューした学生等により、手宮の歴史文化とまちづくりをテーマに公開座談会を実施し、授業成果の情報発信、地元住民との密接な交流を行いました。定員60名のところ95名の参加者があり、盛会となりました。パネラー、学生、参加者の活発な意見交換が行われました。（公開座談会「小樽のひとに学ぶ～手宮の歴史文化とまちづくり～」）。

3. 今後の取組予定について

●インタビューと座談会をまとめた冊子発行（平成30年2月、1000部）

インタビュー記事23人分および公開座談会を収録した冊子を発行します。小樽市内各所での配布、および関連施設（市立小樽図書館、小樽観光協会等）へ設置し、地域資源として活用できるようにします。昨年度より記事内容のクオリティ向上を目指します。